

長期漁海況予報

平成14年下半期(7～12月)の漁況・海況の予想

平成14年7月発行 高知県水産試験場

このたび、平成14年7月から12月を予測期間とした「平成14年度第1回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁況海況予報会議」が高知市で開催され、独立行政法人水産総合研究センター、高知県及び関係都県等の最新の調査結果から長期予報が作成されましたので、高知県関係を中心にその概要をお知らせします。

海況

【実況と経過（平成13年4月～6月）】

1 黒潮

4月上旬は足摺沖で「やや接岸」、室戸沖で「接岸であったが、中旬～5月上旬に小蛇行の通過により足摺沖では「かなり離岸」となった。しかし、5月中旬以降は若干の変動はあるものの足摺沖、室戸沖ともに概ね接岸傾向で推移した。

2 沿岸海況

(1)土佐湾沿岸域の水温（土佐湾沿岸定線観測）

今期の沿岸水温は、平年に比べ高温傾向にあった。4月は0mで、「やや高め」、50-200mは「高め」。5月は0mで「著しく高め」、50-200mで「やや高め」。6月は0m、100mで「やや高め」、50mで「高め」、200mでプラス基調の「平年並」であった。（表1、2）

各地の定地水温は4月は中旬に田野浦、足摺岬で、下旬には室戸岬以外の観測点で負の平年偏差となり、足摺岬では5月下旬まで負の平年偏差が続いた。5月は足摺岬以外で、6月は全点で正の平年偏差となり「平年並」から「かなり高め」で推移した。

土佐湾内の流型パターンは表3のとおり。

表1 沿岸水温の平年偏差

海域	水深	2002年4月	5月	6月
土佐湾 (高知)	観測日	4/3-7	5/10-14	6/6-10
	0m	++	+++	++
	50m	+	++	+
	100m	+	++	++
	200m	+	++	+-

表2 土佐湾水温平年偏差の階級区分

記号	呼称・内容	偏差範囲
+++	著しく高め	2.2 以上
++	かなり高め	1.3~2.2
+	やや高め	0.6~1.3
+-	平年並(プラス基調)	0.0~0.6
---	著しく低め	-2.2 以下
--	かなり低め	-1.3~-2.2
-	やや低め	-0.6~-1.3
-+	平年並(マイナス基調)	0.0~-0.6

表3 土佐湾流型パターン

観測年月	観測期間	流型
2002年4月	4/3-7	右旋環流型
2002年5月	5/10-14	左旋環流型
2002年6月	6/6-10	左旋環流型

3 特異現象（平成14年1～6月）

- ・1月の100m及び200mは歴代1位の低温（1975年以降、欠測年あり。）。
- ・4～6月は多くの観測点で過去最高の高温を記録した（1975年以降、欠測年あり。）。
4月：土佐湾中西部沖合観測点（3観測点：St.13、21、23）の0-30mほか。
5月：土佐湾東部・西部で2点で全層ほか。
6月：38箇所の観測点で0m。西部の中・低層ほか。

【今後の見通し（平成14年7～12月）】

(1) 黒潮

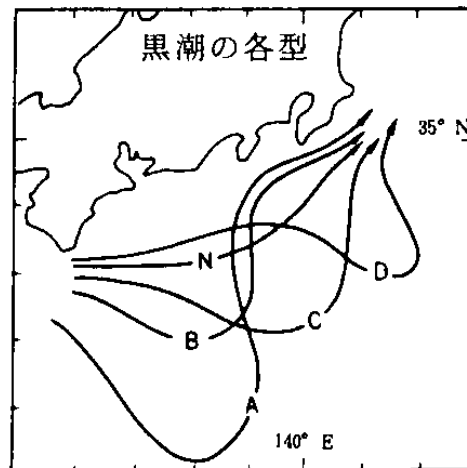
黒潮流型

7～12月は期間を通してN型基調で推移する。

潮岬以西における黒潮流軸変動

8月後半に九州南東沖で小蛇行が形成されるが、その離岸の規模は小さい。この小蛇行は9月に四国沖を東進するにしたいが足摺岬、室戸岬沖でも離岸するがその規模は小さい。

10月後半～11月前半にも九州南東沖で小蛇行が形成され11月～12月に四国沖を東進し、それにともない足摺岬、室戸岬沖で離岸する。



(2) 沿岸水温

土佐湾 : 「平年並」～「高め」で推移する。

豊後水道東部海域 : 「平年並」で推移する。

紀伊水道西部海域 : 期前半「やや高め」で推移する。

(予測の根拠) 高松地方気象台発表の「四国地方3か月予報」、現在の海況の傾向等による。

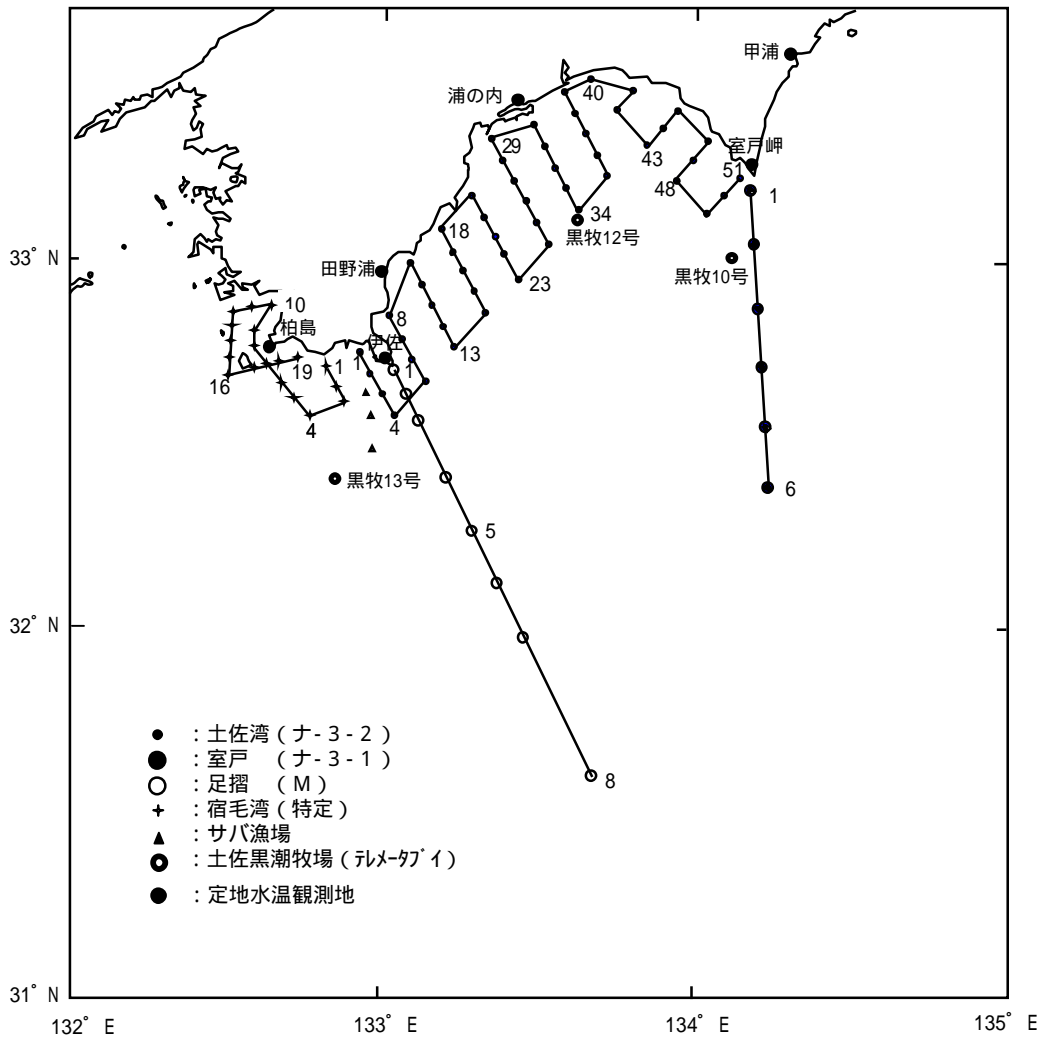


図 高知県の観測定点

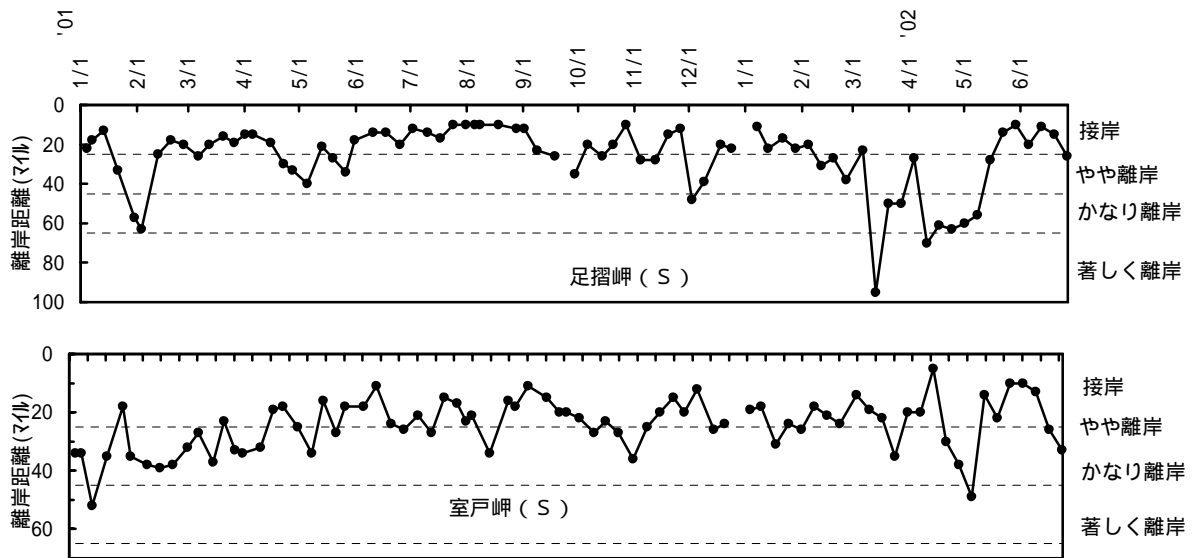


図 足摺岬及び室戸岬からの黒潮流軸離岸距離 (高知県漁海況速報より)

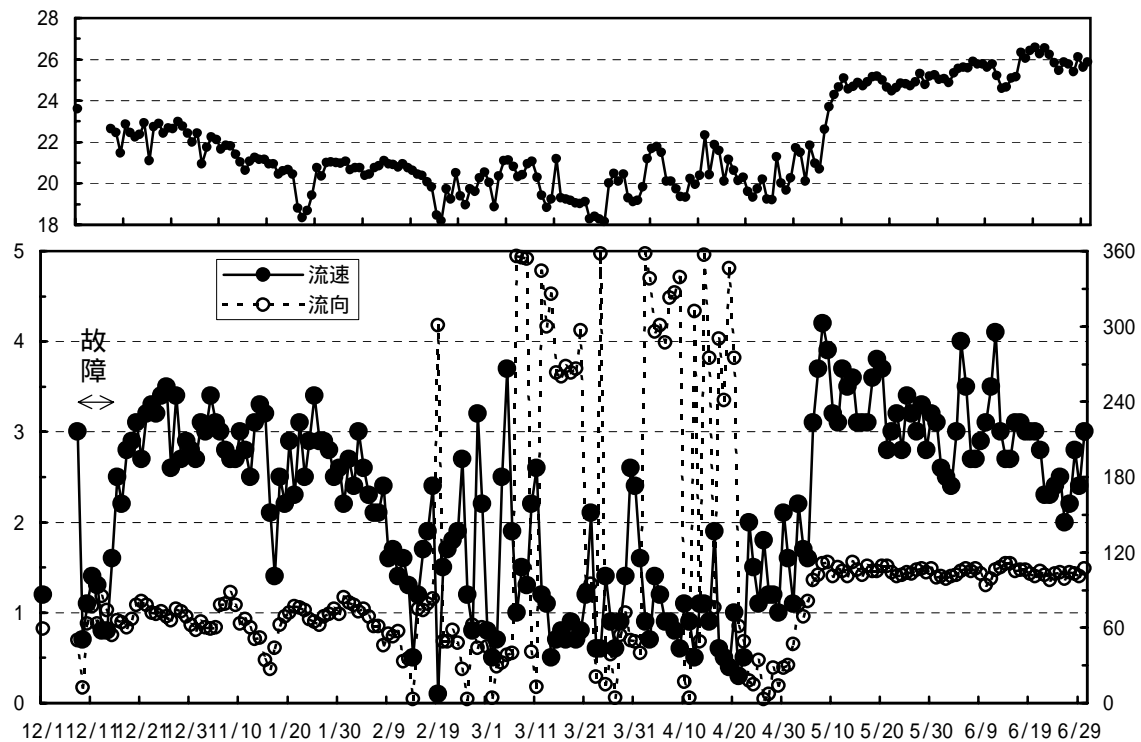


図 黒潮牧場ブイ13号（足摺岬沖）における流向、流速及び水温の日平均値の推移
 （足摺岬灯台真方位201°、22.1マイル、32°22'40"N、132°51'55"E）

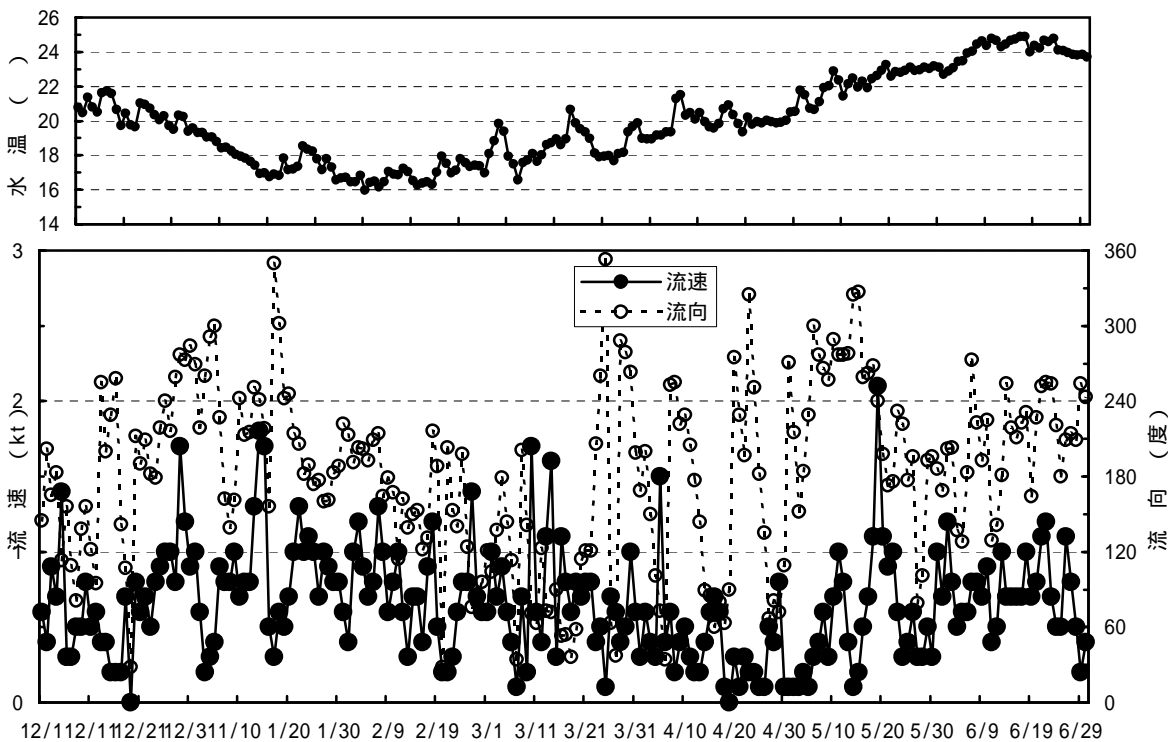


図 黒潮牧場ブイ12号（土佐湾中央部）における流向及び流速の日平均値の推移
 （高知灯台真方位174°、22.8マイル、33°07'00"N、133°37'22"E）

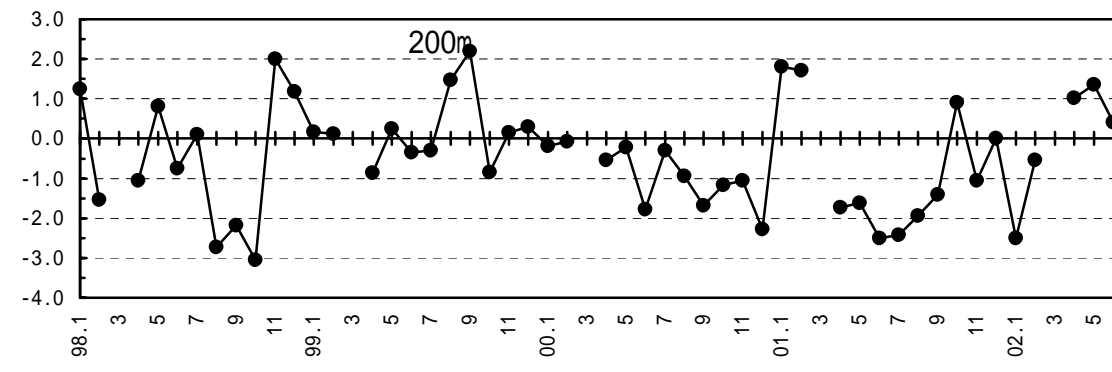
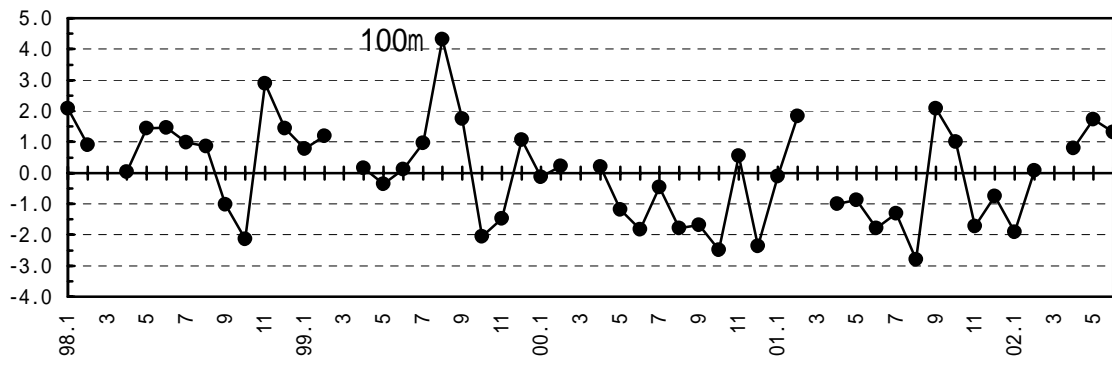
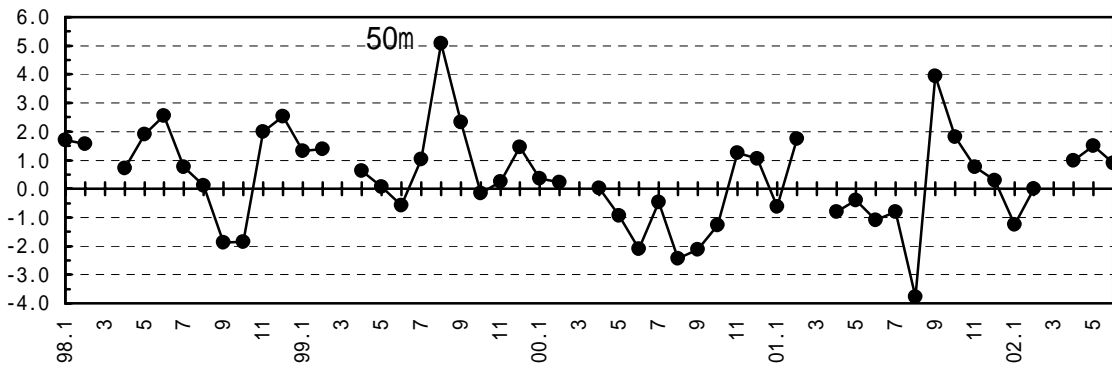
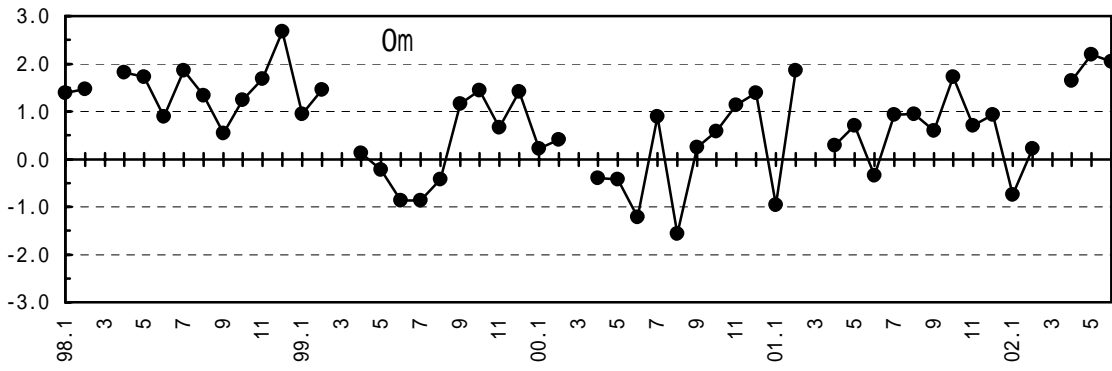


図 土佐湾内全測点平均水温の平年偏差（平年期間：'75-'98）

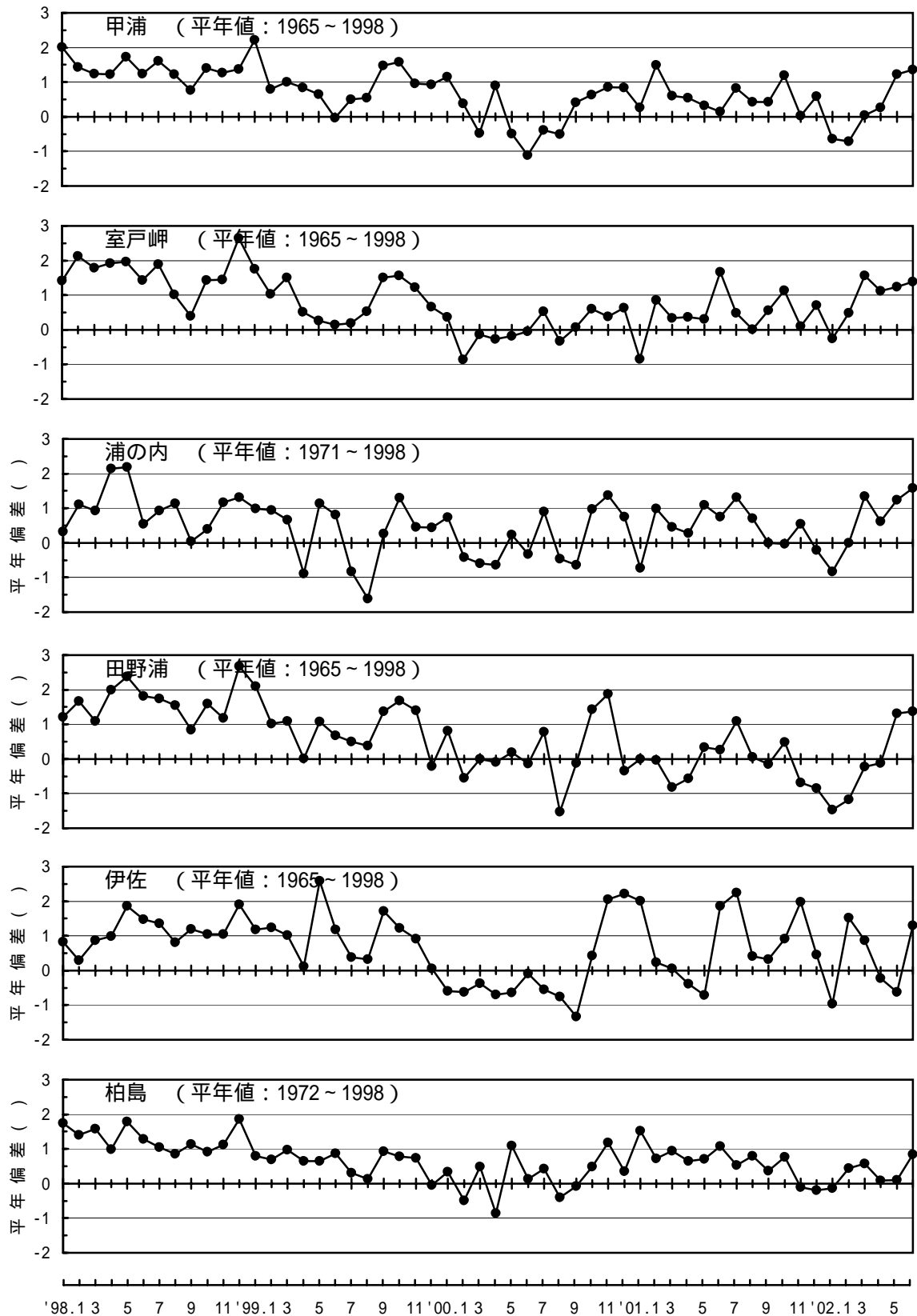


図 定地水温月別平均値の平年偏差の推移

やや高め: 0.6~1.3 、かなり高め: 1.3~2.2 、著しく高め: 2.2 ~

やや低め: -0.6~-1.3 、かなり低め: -1.3~-2.2 、著しく低め: -2.2 ~

漁 況

サバ類 (マサバ、ゴマサバ)

【漁況の経過 (平成14年1～6月)】

1 高知県

- (1) 宿毛湾の中型まき網による総漁獲量 (1～6月計、以下同じ)は924.4トンド、前年 (1456.1トン)、平年 (1577.5トン、以下平年は1991～2000年の平均値)を下回った。漁獲の主体は12歳魚であった。
- (2) 釣 (立縄・多鈎釣等、清水・加領郷・室戸・甲浦4漁協合計)による総漁獲量は641.1トンド、前年 (806.6トン)及び平年 (829.2トン)を下回った。
- (3) 定置網 (窪津・加領郷・椎名3漁協合計)による総漁獲量は70.4トンド、前年 (108.1トン)、平年 (221.2トン)を下回った。

2 周辺各県の経過

宮崎県 :まき網 (北浦、島浦、青島の3港)による平成14年1～6月の総漁獲量は27トンド、前年 (211トン)・平年 (2561トン、1997～2001年の平均値)を大きく下回る不漁であった。

愛媛県 :豊後水道東部海域では平成14年1～5月にかけては100トン程度の水揚げが続いたが、6月に約900トンと好漁となった。

和歌山県 :紀伊水道外域2そうまき網では2月後半～4月中旬までマサバ中・大型魚が好漁となった (比井崎、御坊市、田辺での2～4月計1765トン、対前年比160.3%、対平年比197.1%)。

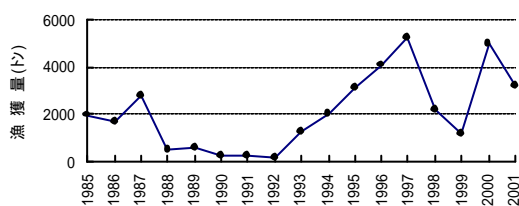


図 サバ類漁獲量の推移 (中型まき網：宿毛湾)

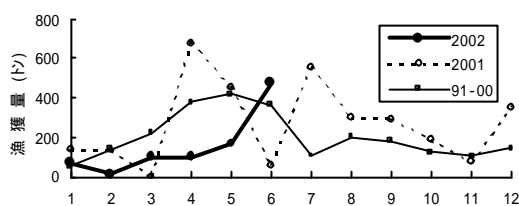


図 サバ類月別漁獲量の推移 (中型まき網：宿毛湾)

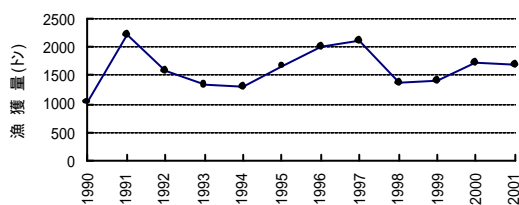


図 サバ類漁獲量の推移 (清水・加領郷・室戸・甲浦：立縄等釣り)

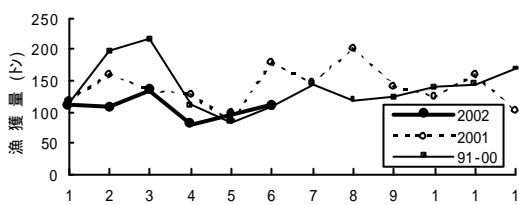


図 サバ類月別漁獲量の推移 (清水・加領郷・室戸・甲浦：立縄等釣り)

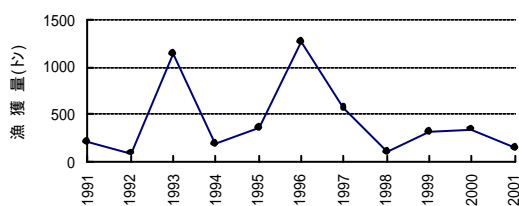


図 サバ類漁獲量の推移 (窪津・加領郷・椎名：大型定置網)

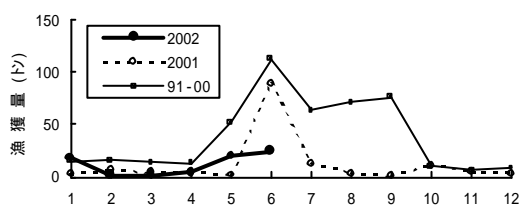


図 サバ類月別漁獲量の推移 (窪津・加領郷・椎名：大型定置網)

【予測 (平成14年7～12月)】

来遊量 :豊後水道域では、ゴマサバ0、1歳魚は少なかつた前年並み。ゴマサバ2歳以上は少ない。マサバは低い水準。サバ類全体としては、前年並みの低水準。

紀伊水道外域では、マサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を上回るが、マサバ全体としては前年並みの低水準。ゴマサバの混獲が前年同様に目立つ。サバ類全体としては前年並み。

説明：

ゴマサバ 資源状態は、近年では1999年級群の加入量が比較的多く、2000年級群は、かなり少なかつた1997年、1998年と比較しやや多い程度である。2001年級群は2000年級群にはやや及ばないが、97-98年に比べて多いと推定されている。ゴマサバは黒潮域を中心に分布し、近年では伊豆諸島周

辺海域以西ではサバ類の中で漁獲割合が高い。今期、潮岬以東の黒潮流路は期を通じて N 型基調で推移すると予測されている。この場合、熊野灘において漁場が形成されやすく、6 月に好転した漁況が継続すると考えられる。豊後水道南部海域および紀伊水道外海においても、黒潮の接岸や暖水波及により漁場が維持、好転するものと考えられる。

マサバ 資源状態は 2 歳魚 (2000 年級群) が 1 歳魚や 3 歳魚より多いものの、昨年(2001 年)の 2 歳魚 (1999 年級群) 程度かそれ以下と考えられる。したがって、マサバ全体としては最低水準にあると判断される。マサバの来遊にとって好条件となる黒潮の接岸傾向は夏季から秋季にも続くと思われるが、既に残存資源量が少ないと考えられるため、来遊はあまり期待できない。

マアジ

漁況の経過 (平成14年1~6月)

1 高知県

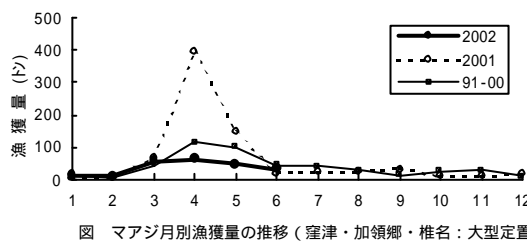
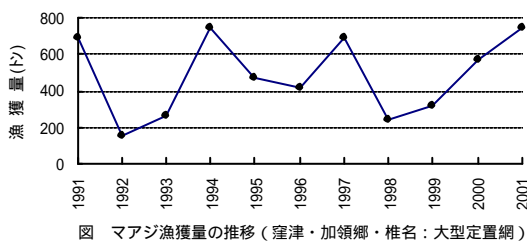
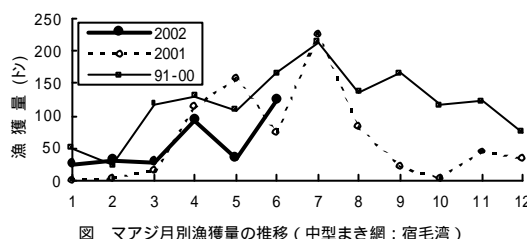
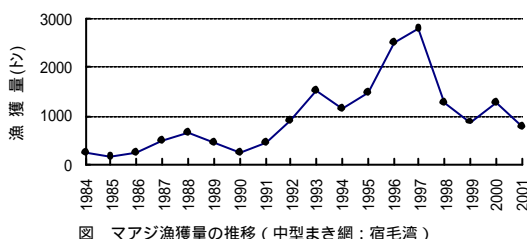
- (1) 宿毛湾の中型まき網による総漁獲量は 333.9 トンで、前年 (664.8 トン)、平年 (595.1 トン) を下回った。銘柄別では、150g 以上の「アジ」が約 123.2 トンで、前年 (239.8 トン) の 50%程度にとどまり、平年 (131.1 トン) 並みであった。150g 未満の銘柄「ゼンゴ」は 210.8 トンで、前年(125.1 トン)を上回ったが、平年 (464.0 トン) は下回った。
- (2) 定置網 (窪津 加領郷・椎名 3漁協合計) による総漁獲量は 218.6 トンで、前年 (634.5 トン)、平年 (316.2 トン) を下回った。

2 周辺各県の経過

宮崎県 : まき網 (北浦、島浦、青島の3港) による平成14年1~6月の総漁獲量は 1466 トンで、前年 (601 トン)・平年 (1020 トン、1997~2001 年の平均値) を大きく上回る好漁となった。

愛媛県 : 豊後水道東部海域での平成14年1~6月の総漁獲量は、約 1000 トンと前年に比べ減少した。

和歌山県 : 紀伊水道外域 2 所まき網では 2 月後半~4 月中旬までマアジ大型群が好漁となった (比井崎、御坊市、田辺での 2~4 月計 2273.2 トン、対前年比 127.4%、対平年比 204.7%)。



予測 (平成14年7~12月)

来遊量 : 豊後水道域では、0 歳魚は前年並みか前年を下回る。1 歳魚は前年を上回る。全体として前年並みか前年を下回る。

紀伊水道外域では、0 歳魚は前年を上回る。全体として前年並みか前年を下回る。

説明 : 漁獲量は 1993 年以降増大し、太平洋系群全体としては 1996 年をピークに、1997 年から 3 年連続して減少傾向にあった。その後、2000 年、2001 年と連続して増加した。資源量は 1990 年代に入り高水準で推移したが、1997 年以降、加入の減少とともに 3 年連続して減少した。2001 年には良好な加入により、資源量は高水準となった。2002 年級群の来遊量は前年並みか前年を下回る。2001 年級群は高水準に推移する。2000 年級群の残存資源量の水準は低い。沿岸域への暖水波及の頻度

が低下するとマアジの来遊が途絶える可能性がある。

マイワシ

【漁況の経過 (平成14年1～6月)】

1 高知県

- (1) 宿毛湾の中型まき網による総漁獲量は32.6トンで、前年(643.5トン)、平年(836.4トン)を大きく下回った。
- (2) 定置網(窪津・加領郷・椎名3漁協合計)による総漁獲量は219.5トンで、前年(79.4トン)は上回ったが、平年(755.6トン)を大きく下回った。

2 周辺各県の経過

宮崎県:まき網(北浦、島浦、青島の3港)による総漁獲量は3トンで、前年(2977トン)・平年(4442トン、1997～2001年の平均値)を大きく下回る著しい不漁となった。

愛媛県:総漁獲量は前年比5%、平年(1982～2001年)比0.01%と低水準であった。

和歌山県:平成14年3～5月に紀伊水道外域で大羽群がまとまって漁獲された(南部町漁協1そうまき網3～5月計460.2トン)。

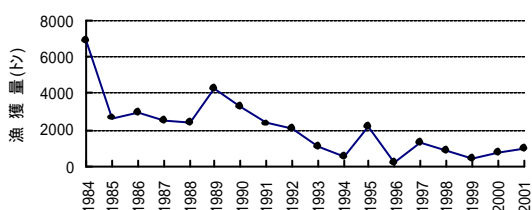


図 マイワシ漁獲量の推移(中型まき網:宿毛湾)

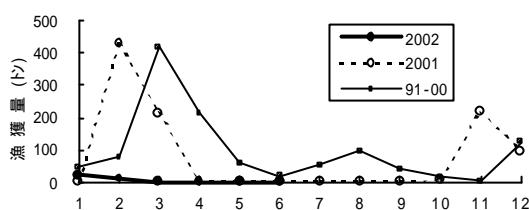


図 マイワシ月別漁獲量の推移(中型まき網:宿毛湾)

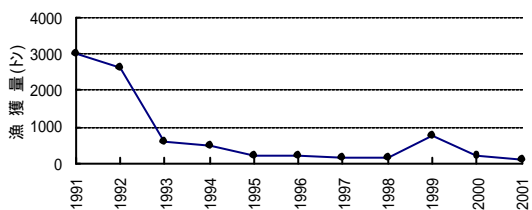


図 マイワシ漁獲量の推移(窪津・加領郷・椎名:大型定置網)

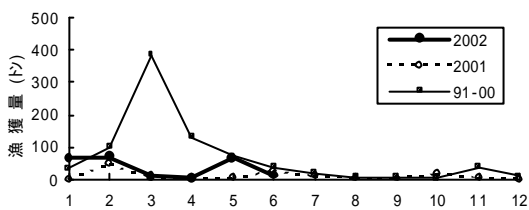


図 マイワシ月別漁獲量の推移(窪津・加領郷・椎名:大型定置網)

【予測 (平成14年7～12月)】

来遊量:低調の前年並みか前年を下回る。

説明:マイワシ太平洋系群の年初の資源量は1995年から2000年までは50万トン前後で低水準ながら比較的安定していたが、2001年は38万トンと減少した。2002年はさらに減少したと推定された。2000年級群の資源水準が既に低く、2001・2002年級群ともに低水準の加入である。本系群の資源水準は極めて低く、単発的な来遊はあるものの、全体的には低水準が続くと考えられる。

カタクチイワシ

【漁況の経過 (平成14年1～6月)】

1 高知県

- (1) 宿毛湾の中型まき網による総漁獲量は714.3トンで、前年(159.1トン)、平年(338.1トン)を大きく上回った。その内訳を見ると、幼魚は64.1トンで、前年(155.1トン)、平年(113.0トン)の4～6割の水揚げにとどまったが、未成魚・成魚の漁獲は650.2トンと好漁となった(前年4.0トン、平年225.0トン)。

(2) 定置網 (窪津・加領郷・椎名3漁協合計)による総漁獲量は3.6トンと、前年(27.9トン)、平年(143.3トン)に比べ低調であった。

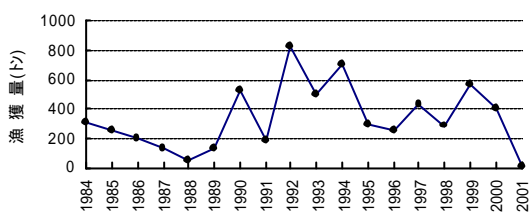


図 カサチイの漁獲量の推移(中型まき網:宿毛湾)

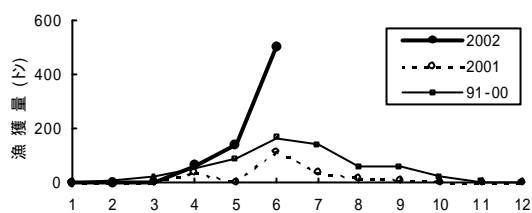


図 カサチイの月別漁獲量の推移(中型まき網:宿毛湾)

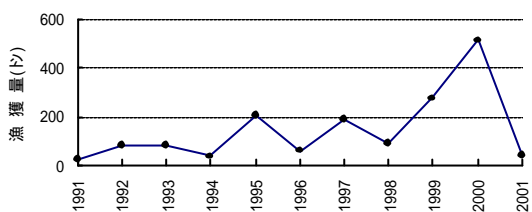


図 カサチイの漁獲量の推移(窪津・加領郷・椎名:大型定置網)

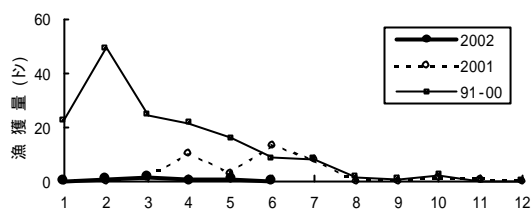


図 カサチイの月別漁獲量の推移(窪津・加領郷・椎名:大型定置網)

2 周辺各県の経過

宮崎県:まき網(北浦、島浦、青島の3港)による総漁獲量は7680トンで、前年(1981トン)を大きく上回ったが、平年(10531トン、1997～2001年の平均値)は下回った。

愛媛県 総漁獲量は前年比309%、平年比293%と高水準となった。これは、南部海域における好漁によるものである。

和歌山県 シラス以外の未成魚・成魚はほとんど漁獲対象にしない。

【予測(平成14年7～12月)】

来遊量 豊後水道東部では0歳魚は前年並み、1歳魚は前年を上回る。宿毛湾では前年を上回る。紀伊水道西部では夏季は前年を上回る。

説明 資源水準は過去20年では高位、5年間で横ばい傾向にある。2000年級群は昨年7月以降ほとんど漁場に出現していない。2001年級群は本年2月以降房総から常磐海域に多く来遊している。シラスは日向灘では好漁、豊後水道から紀伊水道西部では不漁。未成魚、成魚は日向灘では3月から、豊後水道西部では4月から、東部では5月から好漁。紀伊水道西部でも比較的好漁となった。

ウルメイワシ

【漁況の経過(平成14年1～6月)】

1 高知県

- (1) 宿毛湾の中型まき網による総漁獲量は525.6トンで、前年(497.7トン)を上回り、平年(526.6トン)並みの水揚げであった。
- (2) 定置網(窪津・加領郷・椎名3漁協合計)による総漁獲量は22.5トンで、前年(27.0トン)、平年(24.7トン)ともに下回った。
- (3) 今期の宇佐漁協の多鈎釣漁(土佐湾中央部)による総漁獲量は、167.4トンで、前年(118.8トン)、平年(90.7トン)を上回った。

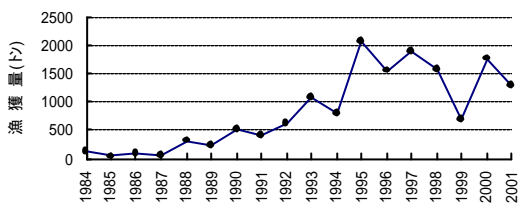


図 カメハツ漁獲量の推移 (中型まき網：宿毛湾)

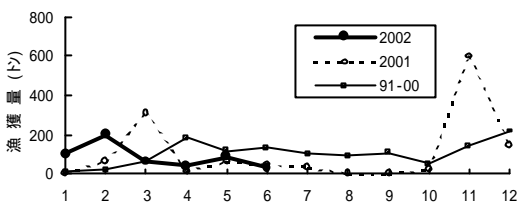


図 カメハツ月別漁獲量の推移 (中型まき網：宿毛湾)

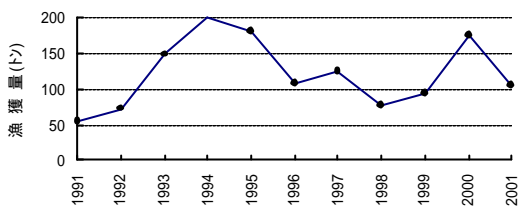


図 カメハツ漁獲量の推移 (窪津・加領郷・椎名：大型定置網)

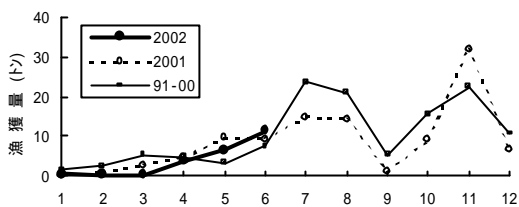


図 カメハツ月別漁獲量の推移 (窪津・加領郷・椎名：大型定置網)

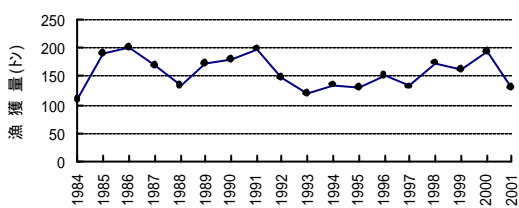


図 カメハツ漁獲量の推移 (宇佐：土佐湾中央部 多鈎釣)

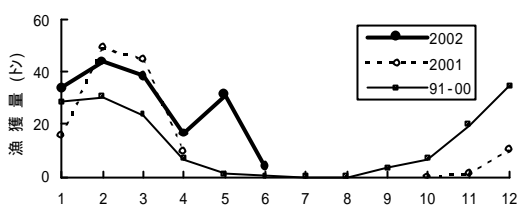


図 カメハツ月別漁獲量の推移 (宇佐：土佐湾中央部 多鈎釣)

2 周辺各県の経過

宮崎県 :まき網 (北浦、島浦、青島の3港)による総漁獲量は1035トンで、前年比54.0%、平年 (1997～2001年の平均値)比24.8%であった。

愛媛県 総漁獲量は前年を上回ったものの (前年比111%)、平年比63%と低水準であった。

和歌山県 紀伊水道外域で3～5月に大羽群がまとまって漁獲された (南部町漁協1そまき網 3～5月計 460.3トン)。熊野灘の定置網では、2～3月に中～大羽群を中心に前年、平年を上回った。棒受網による漁獲は、6月下旬で紀伊水道外域、串本周辺、熊野灘ともに前年、平年を下回っている。

【予測 (平成14年7～12月)】

来遊量 土佐湾では前年、平年並み。日向灘、豊後水道では前年を下回る。紀伊水道では低調であった前年並み。

説明 資源水準は過去 20 年の漁獲量及び産卵量の変動の中で中位、動向は最近 5 年の推移から横ばいである。豊後水道西部では、前年、平年を下回ると予測した。豊後水道東部、紀伊水道では 0 歳魚が不漁。土佐湾の資源水準は比較的安定している。

シラス

【漁況の経過 (平成14年1～6月)】

1 高知県

機船船曳網 (安芸地区 春野町・錦浦・田野浦 7漁協合計)による総漁獲量は 187.3 トンで、前年 (482.1 トン)、平年 (477.9 トン)の 40%程度であった。

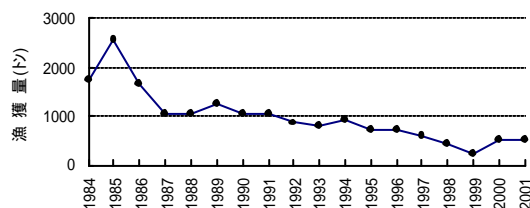


図 シラス漁獲量の推移 (安芸地区、春野町、錦浦、田野浦計7漁協)

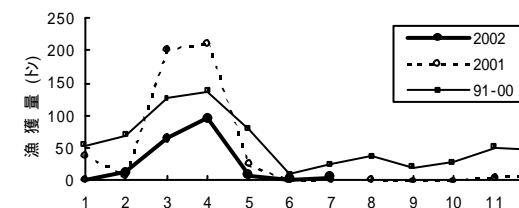


図 シラス月別漁獲量の推移 (安芸地区、春野町、錦浦、田野浦計7漁協)

2 周辺各県の経過

宮崎県 県内8漁協における総漁獲量は898トンで、前年(966トン)、平年(1265トン、1997～2001年の平均値)を下回った。

愛媛県 豊後水道中部の吉田町漁協の共販取扱量は無かった。伊予灘の伊予漁協では100トン程度と前年を大きく下回った。

和歌山県 箕島町漁協におけるパッチ網(16統)による総漁獲量は196.6トンで、対前年比39.4%、対平年比45.8%と低調となった。

【予測(平成14年7～12月)】

来遊量：土佐湾では不漁の前年並み。豊後水道東部では前年を上回る。紀伊水道では前年を下回る。

説明：日向灘では親魚の来遊が継続している。豊後水道西部では親魚の水準が高くない。豊後水道東部では親魚資源量が高水準である。紀伊水道では黒潮の暖水波及が継続して、内海発生群の漁場形成条件が悪いと予測される。